

平成23年3月31日

日本赤十字社臨床工学技士会
会員各位

日本赤十字社臨床工学技士会
会長 齋藤 郁郎

平素は JRCGET の活動に、ご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

東北関東大震災に被災された医療施設への「技士派遣の為にリスト」を作成し、ご要望に対応する為にご協力を頂いております多くの方々に、改めまして御礼申し上げます。

現在、八戸赤十字病院の岩織様が盛岡赤十字病院に派遣され、支援業務を行なっているところでございますが、本日、盛岡赤十字病院の幹部会議の結果、臨床工学技士の支援は、3月いっぱいをもって終了することになりました。無事に派遣業務が終了いたしますのも、支援に赴かれた方々の活躍の賜物と思えます。

しかしながら、今も尚、各地での支援活動はこれからが本番・・・という地域が多くあることはマスコミの報道を見ても明らかであり、被災地で働く JRCGET 会員の「ご自宅の後片付け等」で、多くのスタッフが休暇を申請することも予想されます。

このようなことから、「技士派遣リスト」に登録をしていただきました多くの皆様には、もうしばらく、このリストの存続をお許しいただきたく、お願い申し上げます。

4月末頃に、今一度状況を評価して、存続か終了か、を判断してご連絡いたします。

施設をあずかる皆様にもたいへんご迷惑をおかけいたしまして恐縮ではございますが、万が一、被災地の施設より支援要請が参りました時のためのこの措置に、ご理解のほど、お願い申し上げます。また、各施設より登録いただきました技士の方々におかれましては、上記の件、宜しくお願い申し上げます。

被災地の JRCGET 会員の皆様

多くの JRCGET 会員の方々が、被災者として、また支援者として、救護班のメンバーとして、昼夜を問わず、被災された方々の為に働いていることと思えます。

本当にご苦労様です。

皆様のご活躍は、皆様お一人お一人の誇りであり、また、赤十字を代表するご活躍であると同時に、日本国民の心を代表する行動をされていると思えます。

私達にとっても皆様は誇りです。

どうか、皆さんのご健康、そしてお怪我には充分注意されて、任務を完遂していただきたいと思えます。そして被災者の会員の皆様に、JRCGET が何か皆様の復興の一助にならないか？と思っています。何かございましたら遠慮されることなく、私か皆川事務局長にご連絡いただきたいと思います。

JRCGET 会員一同、東北の地の一日も早い復興を心よりお祈りいたします。